

釧路市まちづくり基本構想等策定に向けたアンケート調査報告書（概要）

総合政策部都市経営課基本構想担当

1. 調査の目的

釧路市まちづくり基本構想等の策定にあたり、市政に対する市民の意見等を反映させ、市民が主体のまちづくりを一層発展させるため実施しました。

2. 調査時期

平成28年7月

3. 調査方法

郵送配布・郵送回収

4. 調査の種別、対象及び回答状況

種別	対象	回答数	回答率(%)
市民アンケート調査	平成28年4月1日現在、釧路市内に住所を有する満16歳以上の市民10,000人	2,946人	29.5
中学生アンケート調査	釧路市内各中学校の代表生徒51人	51人	100.0
企業アンケート調査	釧路市内に事業所を有する企業の中から104社	56社	53.8
各種団体アンケート調査	釧路市内で活動する各種団体178団体	111団体	62.4
長期滞在者アンケート調査	市内の長期滞在者153人	51人	33.3

5. その他

各図表中の構成比(%)については、小数点以下第2位を四捨五入しているため合計は100.0%にならない場合があります。

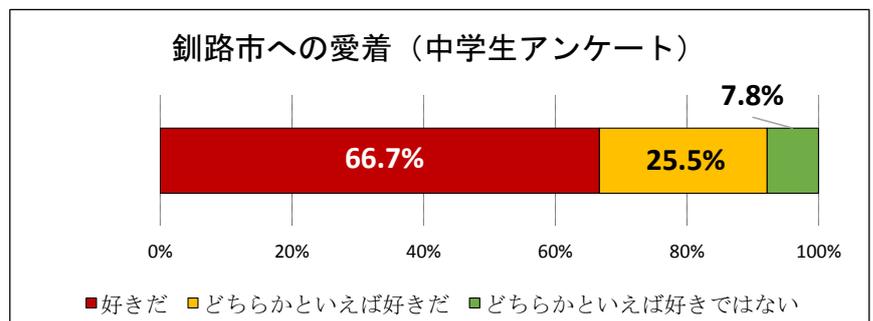
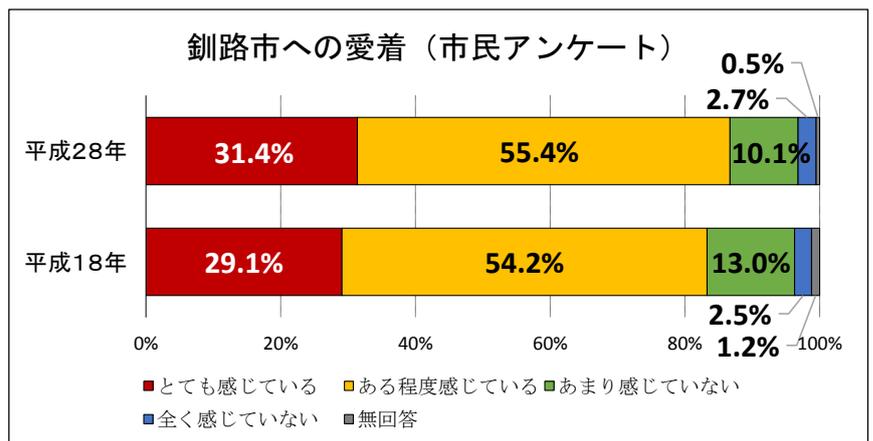
6. 主な調査結果

(1) 釧路市への愛着や継続居留意向、地域の強み・弱みについて

① 釧路市への愛着

釧路市に愛着や親しみを感じているとする内容の回答（「とても感じている」と「ある程度感じている」の合計）は、市民アンケートでは86.8%となっており、平成18年実施の調査の83.3%から3.5ポイント上昇しています。

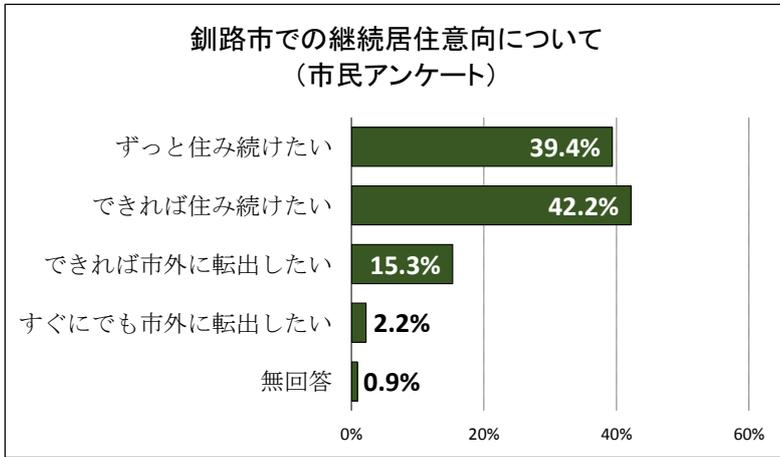
また、中学生アンケートでは92.2%となっています。



② 釧路市での継続居住意向

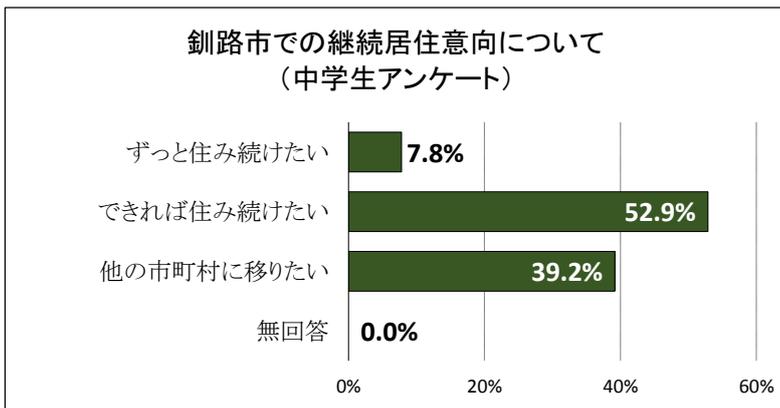
釧路市に住み続けたいとする内容の回答（「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の合計）は市民アンケートでは81.6%、中学生アンケートでは60.7%となっています。

中学生アンケートでは39.2%が他の市町村に移りたいと回答しており、その主な理由としては、「進学したい高校や大学等がない」（60.0%）、「地元で将来やりたい仕事がない」（30.0%）となっています。



釧路市に住み続けたい理由(市民アンケート)

理由	回答率(%)
住宅事情	49.1
気候	28.8
自然環境	26.8
仕事・学校	19.5
医療・福祉環境	12.3
日常の買い物	10.9
その他	9.7
地域の環境・コミュニティ	7.9
交通の便・インフラ	3.2
育児・教育環境	2.4
都市機能の集積	1.4
無回答	0.7



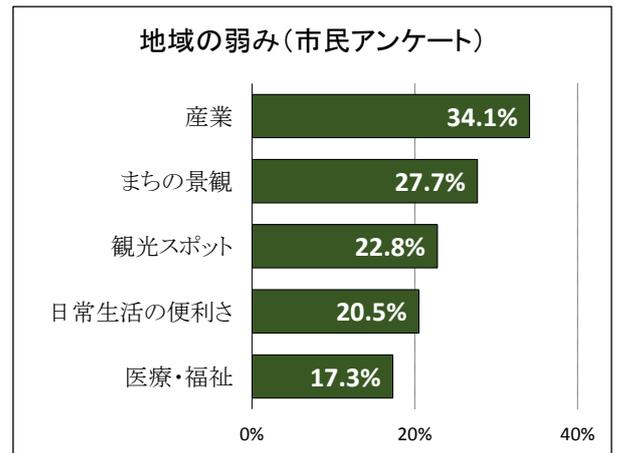
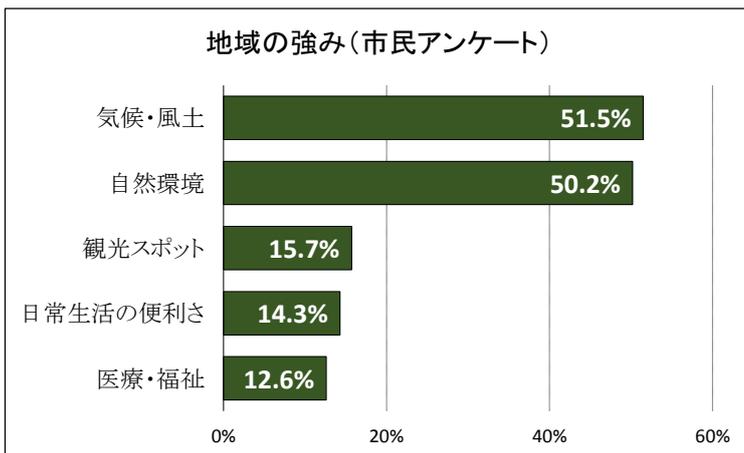
市外に転出したい理由(中学生アンケート)

理由	回答率(%)
進学したい高校や大学等がない	60.0
地元で将来やりたい仕事がない	30.0
親から離れ自立したい	25.0
買い物が不便	20.0
都会での生活にあこがれている	15.0
その他	10.0
バスや汽車が不便	5.0
公園や運動場が不満	5.0
自然が厳しい(冬の寒さなど)	0.0
無回答	0.0

③ 釧路市の「地域の強み」「地域の弱み」

釧路市の地域の強みは「気候・風土」（51.5%）、「自然環境」（50.2%）、「観光スポット」（15.7%）の順に回答が多く、具体的な例についての主な回答内容として、冷涼な気候、降雪量が少ない、釧路湿原などが挙げられています。

また、地域の弱みについては「産業」（34.1%）、「まちの景観」（27.7%）、「観光スポット」（22.8%）の順に回答が多く、水産業の衰退、若者の雇用がない、駅の周りになにもない、中心がシャッター一街などが挙げられています。

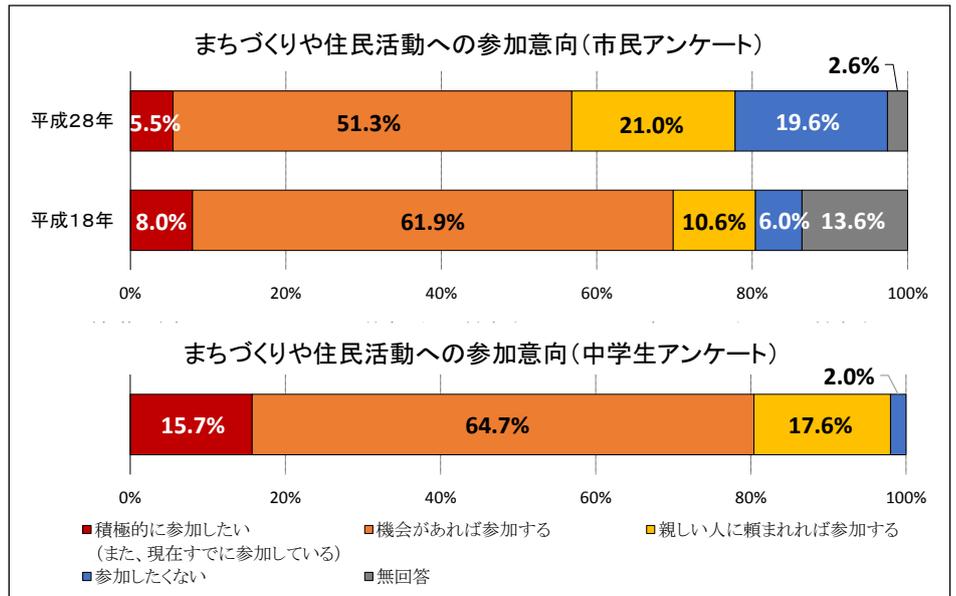


(2) まちづくりについて

① まちづくりや住民活動への参加意向

まちづくりに参加したいと回答した方は市民アンケートでは 77.8%、中学生アンケートでは 98.0%となっています。

「積極的に参加したい」、「機会があれば参加する」、「親しい人に頼まれれば参加する」の割合の合計は、平成 18 年の 80.5%から今回の 77.8%と 2.7 ポイント下降しています。また、「参加したくない」は 13.6 ポイント上昇しています。



② 参加したい活動の内容

参加したい活動の内容としては、「地域清掃活動や花などを植える活動」との回答が最も多くなっており、市民アンケートでは 35.4%、中学生アンケートでは 54.0%となっています。

参加したい活動の内容(市民アンケート)

活動内容	回答率(%)
地域清掃活動や花などを植える活動	35.4
町内会などの地域活動	30.5
資源のムダづかいをなくし環境を守るエコ活動やリサイクル活動	28.8
地域の自然を守り育てる環境保全活動	26.7
スポーツ行事や健康づくりに関する活動	24.2

参加したい活動の内容(中学生アンケート)

活動内容	回答率(%)
美しいまちをつくるための地域清掃活動や花などを植える活動	54.0
お祭りなどのイベントに関する活動	52.0
小さい子供の遊び相手になる子育て支援活動	42.0
お年寄りや困っている人たちへの福祉活動	36.0
国際交流活動や外国からの来訪者を迎える活動	34.0

(3) 重点課題・政策について

① 今後釧路市が特に力を入れて取り組むべきもの

アンケートの 36 項目の選択肢をグループ化(※)して集計すると、16~19 歳と 40~69 歳では「産業・経済」が、20~39 歳と 70 歳以上では「福祉・防災」がそれぞれ最も多くなっています。

今後釧路市が特に重点的に取り組むべきだと思うもの(市民アンケート)

		産業・経済	福祉・防災	都市整備・環境
年齢	16~19歳	1位	3位	2位
	20~29歳	2位	1位	3位
	30~39歳	2位	1位	3位
	40~49歳	1位	2位	3位
	50~59歳	1位	2位	3位
	60~69歳	1位	2位	3位
	70~79歳	2位	1位	3位
	80歳以上	2位	1位	3位

(※) 各グループに含まれるアンケートの選択肢

「産業・経済」 = 「農業の振興」「林業・林産業の振興」「水産業の振興」「鉱工業の振興」「商業の振興」「観光・交流の振興」「中小企業の振興」「産業再生と新産業の創出」「雇用対策の推進」

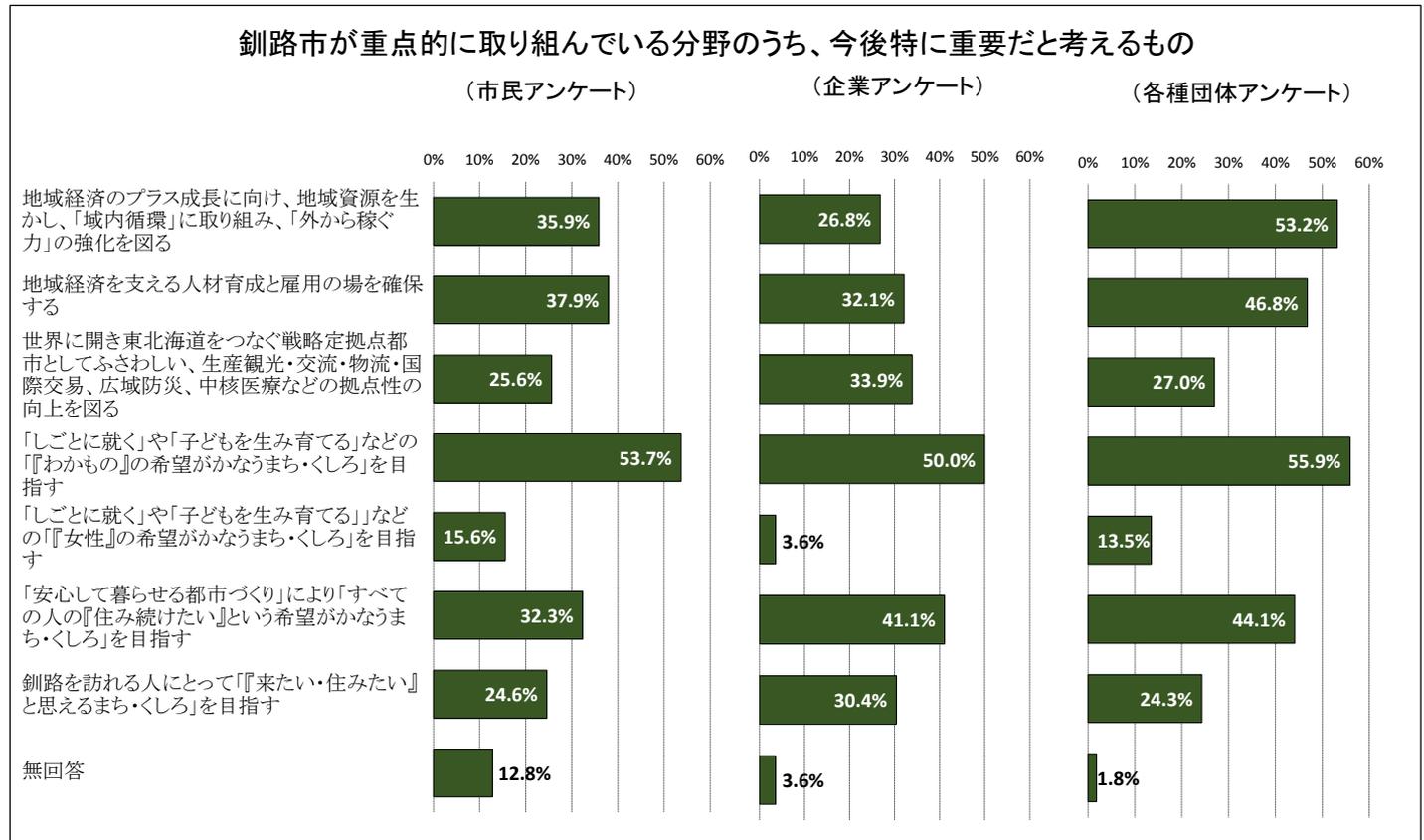
「福祉・防災」 = 「保健・医療の充実」「地域福祉の充実」「高齢者福祉の充実」「障がい(児)者福祉の充実」「子育て支援の充実」「青少年の健全育成」「社会保障の充実」「消防・防災体制の充実」「交通安全・防犯体制の充実」「安全・安心な消費社会の実現」

「都市整備・環境」 = 「魅力ある都市づくり」「道路交通ネットワークの強化」「港湾・空港の整備」「生活道路の整備と生活交通の確保」「水と緑の環境整備」「住宅の整備と地域特性に適した住生活の促進」「水道・下水道等の整備」「環境保全・自然との共生」「適正なごみ処理ときれいな街づくり」

「生涯学習・教育・交流等」 = 「生涯学習の推進」「学校教育の充実」「芸術・文化の振興と継承」「スポーツの振興」「国内交流・国際交流の推進」「お互いを尊重し支え合う社会の醸成」「市民と行政との協働」

② 釧路市が重点的に取り組んでいる分野のうち、今後特に重要だと考えるもの

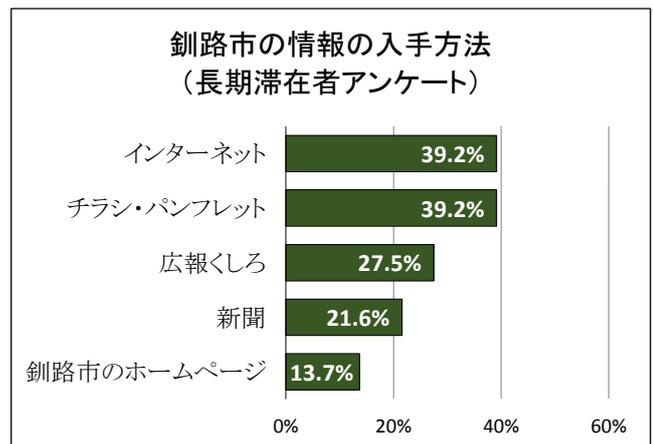
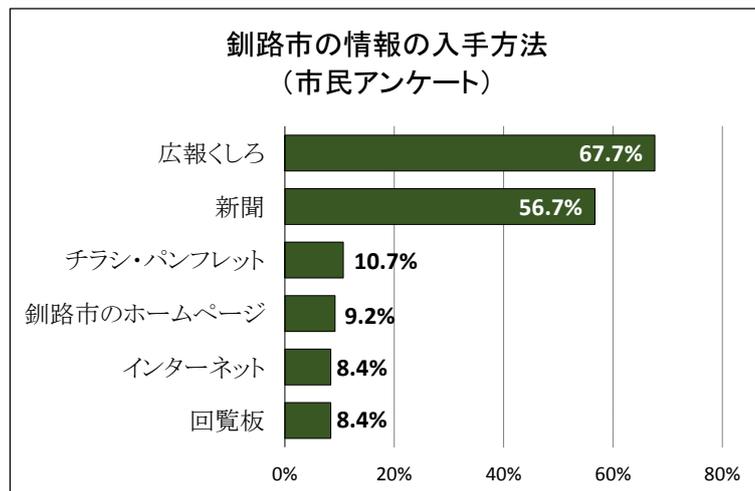
「しごとに就く」や「子どもを生み育てる」などの『わかもの』の希望がかなうまち・くしろを目指す」が市民アンケート 53.7%、企業アンケート 50.0%、各種団体アンケート 55.9%と各アンケート調査で最も多い回答となっています。



(4) 釧路市の情報の入手方法について

釧路市の情報の入手方法については、市民アンケートでは、「広報くしろ」(67.7%)、「新聞」(56.7%)と回答した市民が多くなっています。年代による特色としては、16歳～19歳は「インターネット」(28.3%)、「SNS」(26.1%)となっており、20歳～29歳は「インターネット」(24.8%)、「SNS」(23.6%)となっています。

長期滞在者アンケートでは、「インターネット」(39.2%)、「チラシ・パンフレット」(39.2%)が多くなっています。

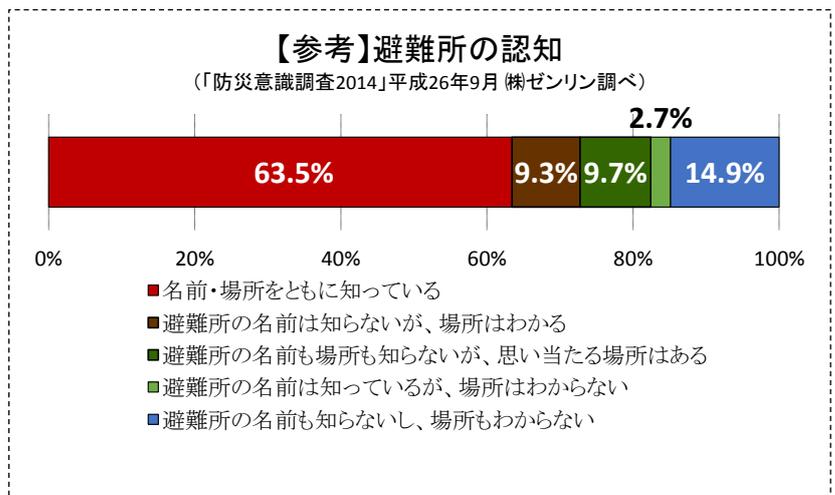
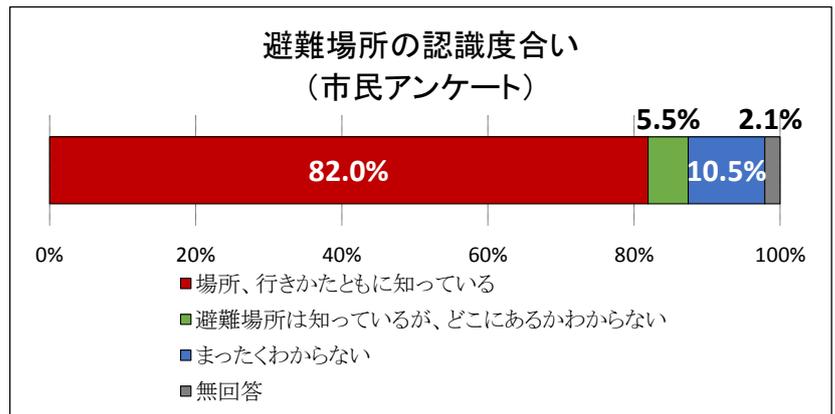


(5) 自然災害について

① 避難場所の認識度合い

避難場所の認識度合いについて、市民アンケートでは、「場所、行きかたともに知っている」が82.0%となっています。

民間会社が実施した全国的なアンケート調査では、避難所の「名前・場所ともに知っている」の回答は63.5%であり、その差は18.5ポイントとなっています。



② 大規模自然災害に対して取り組むべき対策

大規模自然災害への対策として優先度が高いと思われるものは、「公共施設の耐震化・整備」が50.9%で最も多く、「道路等インフラ・物流機能の耐災害性の強化」が36.6%、「非常食等の備蓄」が34.9%となっています。

